

令和6年に発生した農作業死亡事故の概要

1 調査方法

農林水産省は、全国における農作業に伴う死亡事故の発生実態及びその原因等を把握することを目的として、厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡個票等を用いて、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの1年間の農作業死亡事故について取りまとめました。

2 調査結果の概要

2-1 概要 【表1参照】

- (1) 令和6年の農作業事故死亡者数は287人であり、前年より51人増加した。
- (2) 事故区分別にみると、
 - ① 農業機械作業に係る事故（以下「機械事故」という。）は156人（農作業事故全体の54.4%）
 - ② 農業用施設作業に係る事故（以下「施設事故」という。）は15人（同5.2%）
 - ③ 農業機械・施設以外の作業に係る事故（以下「それ以外の事故」という。）は116人（同40.4%）であった。③のうち熱中症による事故が59人となり、前年より22人増加し、増加分の43.1%を占めている。
- (3) 男女別にみると、男性が241人（同84.0%）、女性が46人（同16.0%）である。
- (4) 年齢階層別にみると、65歳以上の高齢者の事故は248人（同86.4%）である。

2-2 「機械事故」の発生状況

(1) 機種別事故発生状況 【表1参照】

機種別では、「乗用型トラクター」による事故が最も多く、53人（機械事故全体の34.0%）、次いで「農用運搬車（軽トラックを含む。）」が26人（同16.7%）、「自脱型コンバイン」が17人（同10.9%）と、これらの3機種で機械事故全体の61.5%を占めている。

(2) 原因別事故発生状況 【表2参照】

原因別では、「機械の転落・転倒」が82人（機械事故全体の52.6%）と最も多くなっている。

乗用型トラクターでは、「機械の転落・転倒」が38人（当該機種による事故の71.7%）と最も多い。

農用運搬車では、「機械の転落・転倒」が12人（同46.2%）と最も多く、次いで「ひかれ」が6人（同23.1%）となっている。

自脱型コンバインでは、「機械の転落・転倒」が10人（同58.8%）と最も多く、次いで「ひかれ」が3人（同17.6%）となっている。

2-3 「施設事故」の発生状況 【表3参照】

施設事故は、作業舎の屋根等、高所からの「墜落、転落」が5人（施設事故の33.3%）と最も多く、「落下物によるもの」と「CO₂ガス等によるもの」がそれぞれ2人（同13.3%）となっている。

2-4 「それ以外の事故」の発生状況 【表4参照】

それ以外の事故は、「熱中症」が59人（それ以外の事故の50.9%）と最も多く、次いで「ほ場、道路からの転落」が19人（同16.4%）となっている。

2-5 年齢階層別事故発生状況 【表5参照】

年齢階層別では、「80歳以上」が122人（農作業死亡事故全体の42.5%）と最も多く、次いで「70～79歳」が103人（同35.9%）となっている。

2-6 月別の事故の発生状況 【表6参照】

月別では、「7月」が58人（農作業事故全体の20.2%）と最も多く、次いで「8月」が46人（同16.0%）、「9月」が30人（同10.5%）となっている。

表1 農作業中の死亡事故発生状況

(単位：人、%)

	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年	
死亡者数	338	312	304	274	281	270	242	238	236	287	
農業機械作業に係る事故	205 (60.7)	217 (69.6)	211 (69.4)	164 (59.9)	184 (65.5)	186 (68.9)	171 (70.7)	152 (63.9)	147 (62.3)	156 (54.4)	
乗用型トラクター	101 (29.9)	87 (27.9)	92 (30.3)	73 (26.6)	80 (28.5)	81 (30.0)	58 (24.0)	62 (26.1)	61 (25.8)	53 (18.5)	
歩行型トラクター	21 (6.2)	35 (11.2)	28 (9.2)	24 (8.8)	22 (7.8)	26 (9.6)	22 (9.1)	21 (8.8)	9 (3.8)	11 (3.8)	
農用運搬車	25 (7.4)	37 (11.9)	26 (8.6)	18 (6.6)	26 (9.3)	15 (5.6)	21 (8.7)	16 (6.7)	12 (5.1)	26 (9.1)	
自脱型コンバイン	8 (2.4)	7 (2.2)	11 (3.6)	8 (2.9)	9 (3.2)	12 (4.4)	16 (6.6)	11 (4.6)	13 (5.5)	17 (5.9)	
動力防除機	10 (3.0)	10 (3.2)	6 (2.0)	8 (2.9)	8 (2.8)	9 (3.3)	16 (6.6)	8 (3.4)	7 (3.0)	11 (3.8)	
草刈機	7 (2.1)	10 (3.2)	12 (3.9)	6 (2.2)	7 (2.5)	7 (2.6)	11 (4.5)	1 (0.4)	1 (0.4)	7 (2.4)	
農用高所作業機	…	…	…	…	…	3 (1.1)	1 (0.4)	1 (0.4)	3 (1.3)	5 (1.7)	
その他	33 (9.8)	31 (9.9)	36 (11.8)	27 (9.9)	32 (11.4)	33 (12.2)	26 (10.7)	32 (13.4)	41 (17.4)	26 (9.1)	
農業用施設作業に係る事故	14 (4.1)	14 (4.5)	13 (4.3)	13 (4.7)	17 (6.0)	8 (3.0)	7 (2.9)	5 (2.1)	6 (2.5)	15 (5.2)	
機械・施設以外の作業に係る事故	119 (35.2)	81 (26.0)	80 (26.3)	97 (35.4)	80 (28.5)	76 (28.1)	64 (26.4)	81 (34.0)	83 (35.2)	116 (40.4)	
性別	男	285 (84.3)	257 (82.4)	266 (87.5)	225 (82.1)	241 (85.8)	232 (85.9)	211 (87.2)	210 (88.2)	196 (83.1)	241 (84.0)
	女	53 (15.7)	55 (17.6)	38 (12.5)	49 (17.9)	40 (14.2)	38 (14.1)	31 (12.8)	28 (11.8)	43 (18.2)	46 (16.0)
うち65歳以上層に係る事故	284 (84.0)	254 (81.4)	256 (84.2)	237 (86.5)	248 (88.3)	229 (84.8)	205 (84.7)	205 (86.1)	202 (85.6)	248 (86.4)	

注：1 ()内は、事故発生件数に対する割合である。

- 平成29年、令和5年、令和6年の年齢については、不明が1名いる。
- 令和2年から、「その他」に含めていた「農用高所作業機」を分離した。
- 令和6年調査より、動力刈払機を草刈機に名称変更した。

表2 農業機械作業に係る事故の機種別・原因別死亡者数

(単位：人、%)

事故発生原因	農 業 機 械 作 業 に 係 る 事 故								合 計
	乗用型 トラクター	歩行型 トラクター	農 用 運搬車	自脱型 コンバイン	動 力 防除機	草刈機	農用高所 作業機	その他	
機械の転落・転倒	38 (71.7)	3 (27.3)	12 (46.2)	10 (58.8)	6 (54.5)	3 (42.9)	3 (60.0)	7 (26.9)	82 {52.6}
ほ 場 等	28 (52.8)	2 (18.2)	7 (26.9)	6 (35.3)	3 (27.3)	3 (42.9)	3 (60.0)	5 (19.2)	57 {36.5}
道 路 か ら	10 (18.9)	1 (9.1)	5 (19.2)	4 (23.5)	3 (27.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.7)	25 {16.0}
道路上での 自動車との衝突	1 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 {1.3}
挟 ま れ	3 (5.7)	4 (36.4)	5 (19.2)	1 (5.9)	3 (27.3)	2 (28.6)	2 (40.0)	7 (26.9)	27 {17.3}
ひ か れ	2 (3.8)	1 (9.1)	6 (23.1)	3 (17.6)	2 (18.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (19.2)	19 {12.2}
回転部等への 巻き込まれ	8 (15.1)	3 (27.3)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (19.2)	17 {10.9}
機 械 か ら の 転 落	1 (1.9)	0 (0.0)	1 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.7)	4 {2.6}
そ の 他	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.7)	1 (5.9)	0 (0.0)	2 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 {3.2}
合計	53 {34.0}	11 {7.1}	26 {16.7}	17 {10.9}	11 {7.1}	7 {4.5}	5 {3.2}	26 {16.7}	156 {100.0}

注：1 ()内は、事故区分の合計に対する割合を示す。

2 { }内は、農業機械作業に係る死亡事故数の合計に対する割合を示す。

3 事故区分の「その他」は、左記以外の機械（田植機等）の他、機種不明の場合を含む。

4 令和6年調査より、動力刈払機を草刈機に名称変更した。

表3 農業用施設作業に係る事故の原因別死亡者数の推移

(単位：人、%)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
墜落、転落	14 (82.4)	7 (87.5)	4 (57.1)	1 (20.0)	4 (66.7)	5 (33.3)
落下物によるもの	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (20.0)	1 (16.7)	2 (13.3)
COガス等による中毒	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	2 (13.3)
酸素欠乏によるもの	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	3 (17.6)	0 (0.0)	3 (42.9)	2 (40.0)	1 (16.7)	6 (40.0)
合計	17 (100.0)	8 (100.0)	7 (100.0)	5 (100.0)	6 (100.0)	15 (100.0)

注：（ ）内は割合を示す。

表4 農業機械・施設以外の作業に係る事故の原因別死亡者数の推移

(単位：人、%)

	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
ほ場、道路からの転落	11 (13.8)	13 (17.1)	11 (17.2)	12 (14.8)	10 (12.0)	19 (16.4)
木等の高所からの転落	6 (7.5)	6 (7.9)	8 (12.5)	7 (8.6)	3 (3.6)	8 (6.9)
道路上での事故	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
稲ワラ焼却中等の火傷	16 (20.0)	11 (14.5)	9 (14.1)	15 (18.5)	17 (20.5)	12 (10.3)
家畜によるもの	4 (5.0)	4 (5.3)	1 (1.6)	0 (0.0)	5 (6.0)	3 (2.6)
農薬による中毒	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
蛇、昆虫によるもの	1 (1.3)	0 (0.0)	3 (4.7)	3 (3.7)	2 (2.4)	2 (1.7)
落雷によるもの	0 (0.0)	2 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	0 (0.0)
刃部によるもの	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
作業中の病気によるもの	29 (36.3)	32 (42.1)	23 (35.9)	33 (40.7)	38 (45.8)	60 (51.7)
うち熱中症によるもの	29 (36.3)	32 (42.1)	23 (35.9)	29 (35.8)	37 (44.6)	59 (50.9)
その他	13 (16.3)	7 (9.2)	9 (14.1)	9 (11.1)	7 (8.4)	12 (10.3)
合計	80 (100.0)	76 (100.0)	64 (100.0)	81 (100.0)	83 (100.0)	116 (100.0)

注：1 （ ）内は合計に対する割合を示す。

2 その他は溺水によるもの等を含む。

表5 年齢階層別死亡者数の推移

(単位：人、%)

区 分	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
30歳未満	2 (0.7)	6 (2.2)	3 (1.2)	4 (1.7)	2 (0.8)	1 (0.3)
30～39歳	1 (0.4)	5 (1.9)	4 (1.7)	4 (1.7)	3 (1.3)	6 (2.1)
40～49歳	2 (0.7)	3 (1.1)	6 (2.5)	2 (0.8)	7 (3.0)	10 (3.5)
50～59歳	14 (5.0)	15 (5.6)	10 (4.1)	14 (5.9)	6 (2.5)	15 (5.2)
60～64歳	14 (5.0)	12 (4.4)	14 (5.8)	9 (3.8)	15 (6.4)	6 (2.1)
65～69歳	41 (14.6)	33 (12.2)	23 (9.5)	22 (9.2)	17 (7.2)	23 (8.0)
70～79歳	89 (31.7)	101 (37.4)	75 (31.0)	83 (34.9)	77 (32.6)	103 (35.9)
80歳以上	118 (42.0)	95 (35.2)	107 (44.2)	100 (42.0)	108 (45.8)	122 (42.5)
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)	1 (0.3)
合計	281 (100.0)	270 (100.0)	242 (100.0)	238 (100.0)	236 (100.0)	287 (100.0)
うち65歳以上	248 (88.3)	229 (84.8)	205 (84.7)	205 (86.1)	202 (85.6)	248 (86.4)

注：（ ）内は合計に対する割合を示す。

表6 月別の死亡事故発生状況

(単位：人、%)

区分	2年	3年	4年	5年	6年
1月	3 (1.1)	7 (2.9)	8 (3.4)	9 (3.8)	7 (2.4)
2月	13 (4.8)	14 (5.8)	7 (2.9)	11 (4.7)	8 (2.8)
3月	17 (6.3)	14 (5.8)	19 (8.0)	17 (7.2)	16 (5.6)
4月	28 (10.4)	29 (12.0)	24 (10.1)	21 (8.9)	21 (7.3)
5月	36 (13.3)	31 (12.8)	30 (12.6)	13 (5.5)	23 (8.0)
6月	28 (10.4)	23 (9.5)	24 (10.1)	20 (8.5)	27 (9.4)
7月	23 (8.5)	25 (10.3)	28 (11.8)	35 (14.8)	58 (20.2)
8月	51 (18.9)	21 (8.7)	32 (13.4)	35 (14.8)	46 (16.0)
9月	23 (8.5)	30 (12.4)	21 (8.8)	29 (12.3)	30 (10.5)
10月	27 (10.0)	23 (9.5)	28 (11.8)	28 (11.9)	24 (8.4)
11月	13 (4.8)	12 (5.0)	8 (3.4)	11 (4.7)	15 (5.2)
12月	8 (3.0)	13 (5.4)	9 (3.8)	7 (3.0)	12 (4.2)
合計	270 (100.0)	242 (100.0)	238 (100.0)	236 (100.0)	287 (100.0)

注：（ ）内は合計に対する割合を示す。

(参考1) 都道府県別農作業事故死亡者数

(単位：人)

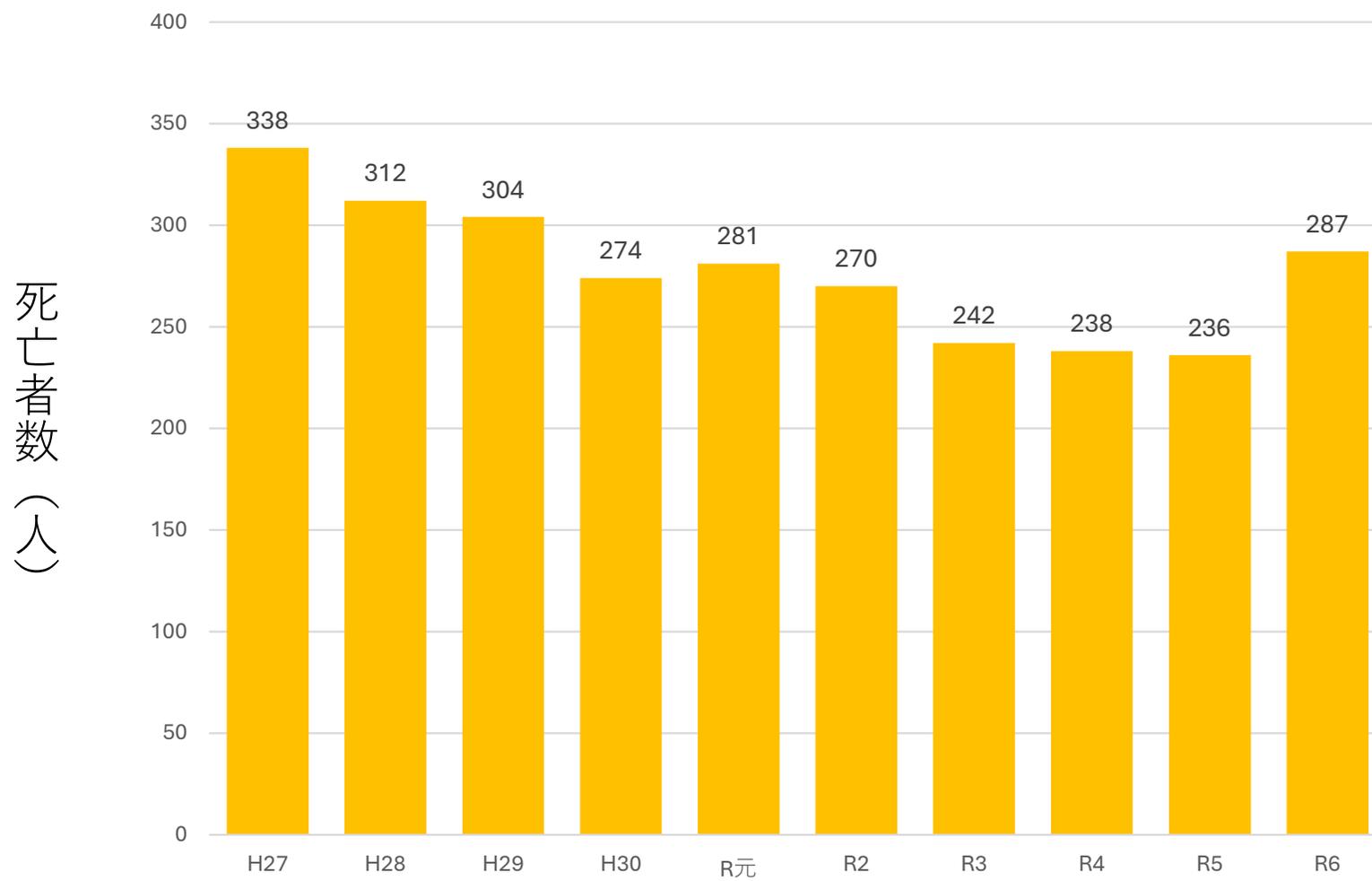
都道府県名	2年	3年	4年	5年	6年
北海道	17	9	13	13	17
青森	14	8	8	12	6
岩手	4	9	14	5	8
宮城	11	-	10	7	-
秋田	4	8	6	5	6
山形	6	4	-	6	-
福島	9	8	-	8	5
茨城	6	6	6	7	16
栃木	7	-	6	4	7
群馬	4	8	6	8	-
埼玉	-	4	7	4	-
千葉	4	5	4	6	11
東京	-	-	-
神奈川	4	-	-	-	-
山梨	4	5	-	4	9
長野	20	15	12	7	12
静岡	-	-	5	-	7
新潟	7	7	8	6	12
富山	-	-	-	-	8
石川	-	-	-	-	-
福井	-	4	-	-	5
岐阜	6	-	7	-	11
愛知	6	9	5	8	8
三重	-	-	-	-	5
滋賀	-	6	-	-	5
京都	-	-	-	-	-
大阪	-	-	-	-	4
兵庫	8	8	7	7	-
奈良	-	4	-	-	-
和歌山	-	5	-	-	-
鳥取	-	6	-	-	4
島根	-	-	-	-	5
岡山	6	7	7	11	11
広島	5	-	8	6	6
山口	7	4	4	6	7
徳島	4	-	-	-	-
香川	5	7	4	7	5
愛媛	5	5	5	9	7
高知	4	-	-	6	4
福岡	4	6	5	4	4
佐賀	6	7	-	5	-
長崎	11	8	6	4	7
熊本	10	9	10	7	13
大分	14	6	8	9	-
宮崎	7	8	6	7	13
鹿児島	10	9	16	7	9
沖縄	4	8	-	5	-
全国計	270	242	238	236	287

注：1 令和4年より東京都も本調査の対象とした。

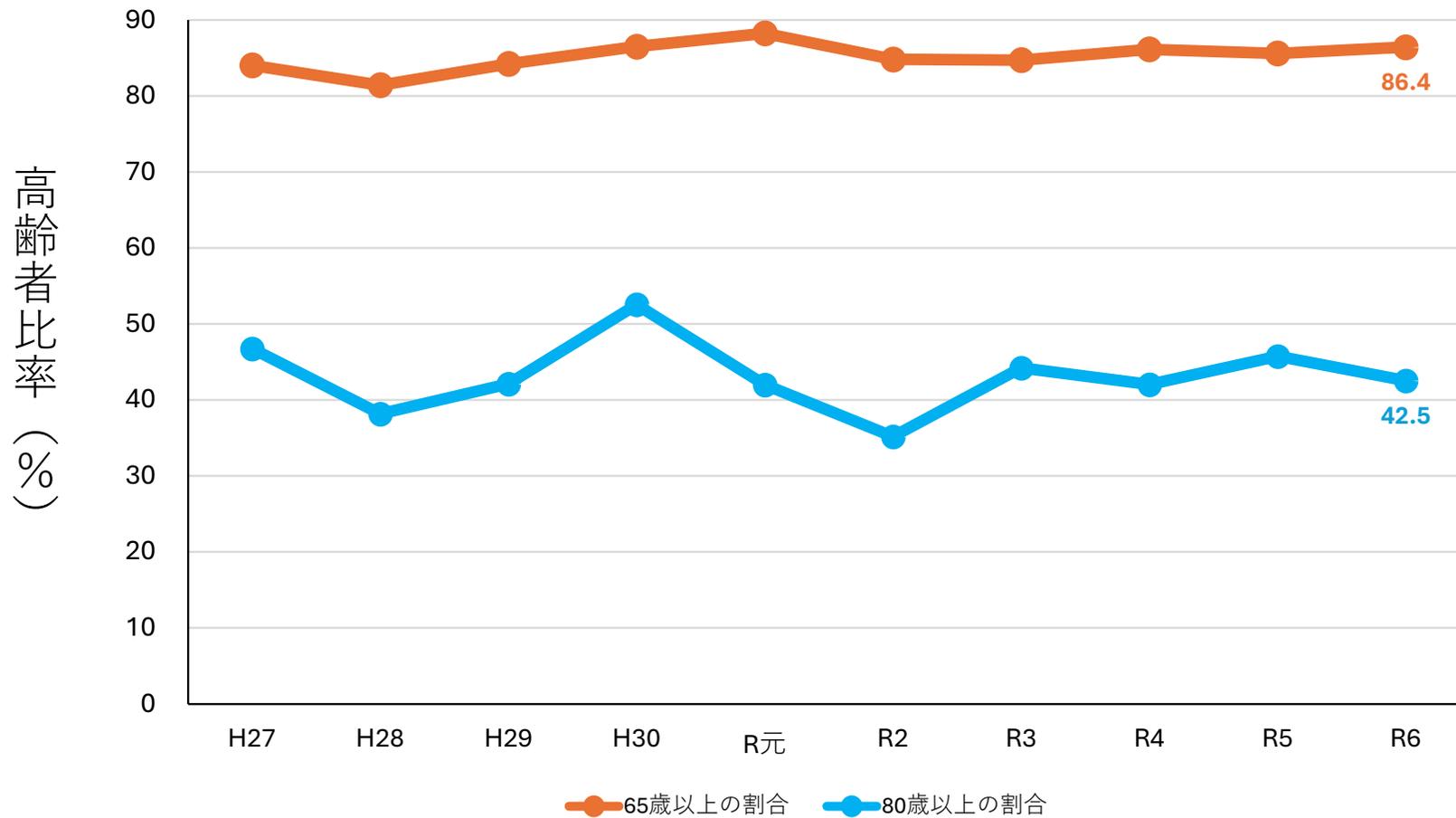
2 事故者数が0～3人の都道府県は「-」で示している。

3 本調査結果は、厚生労働省の人口動態調査・死亡個票等によるものであり、各都道府県が独自に実施している事故調査の結果と異なる場合がある。

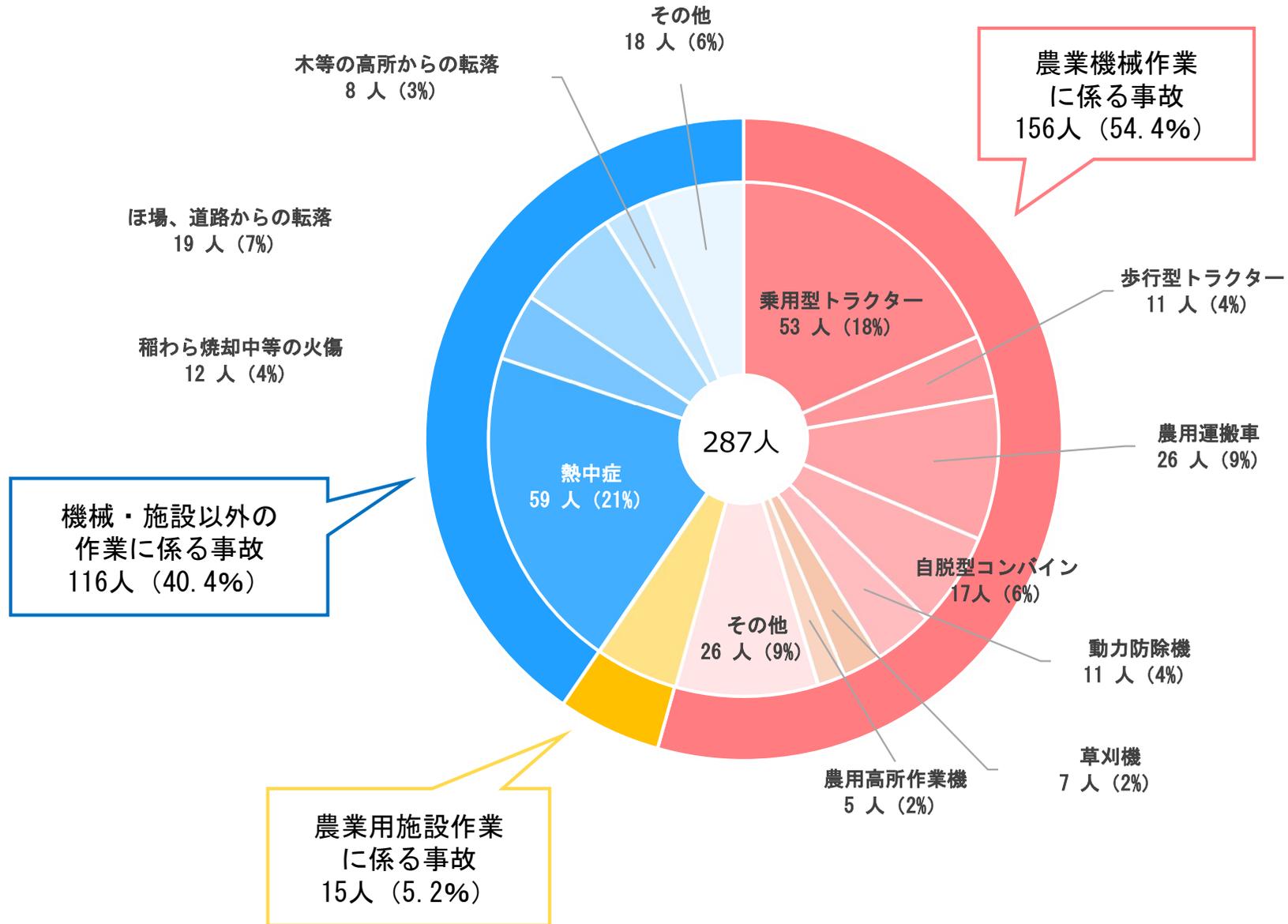
農作業死亡事故の発生状況



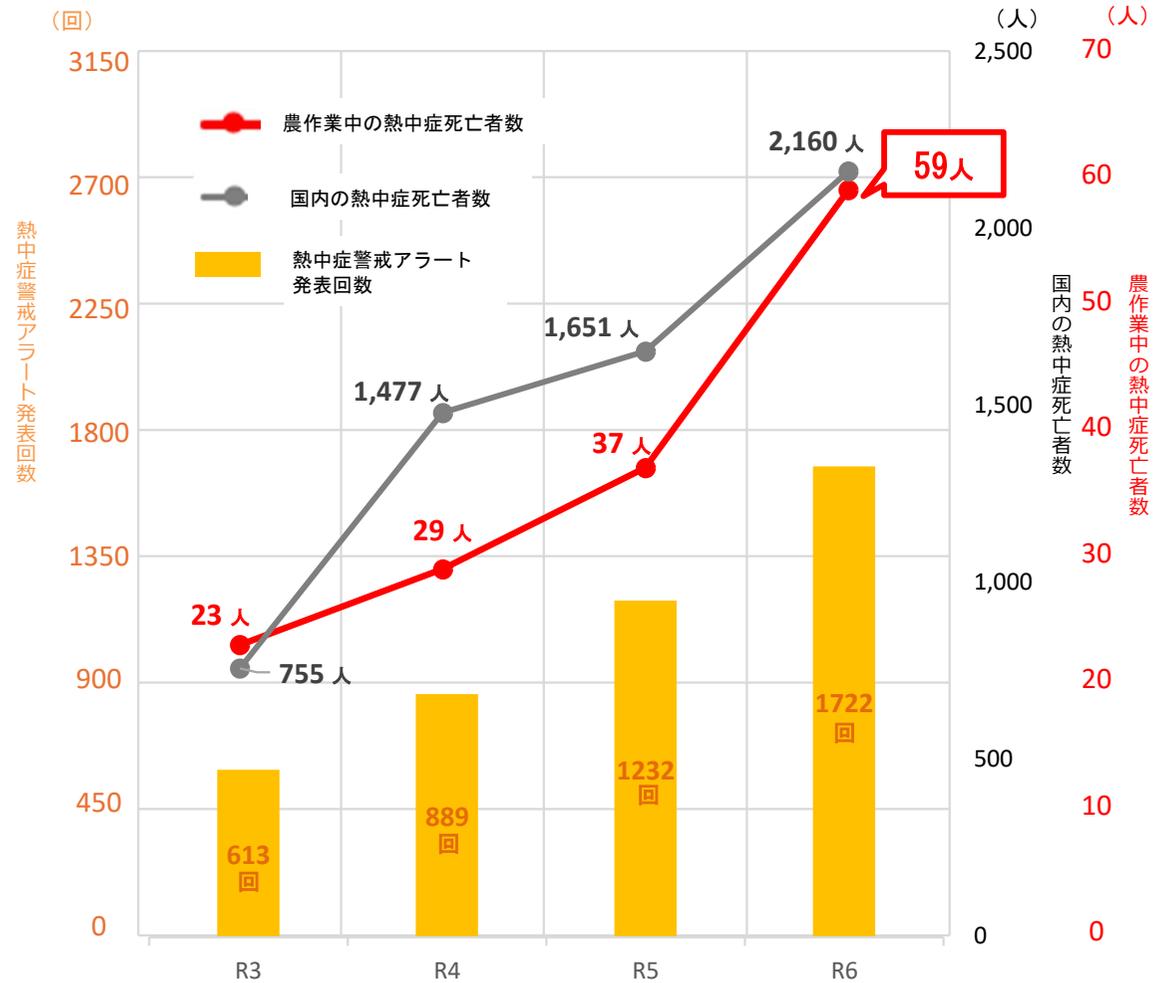
農作業死亡事故の高齢者比率



要因別の死亡事故発生状況（令和6年）



農作業中の熱中症による死亡者数と国内の熱中症の死亡者数の比較 (令和3年～令和6年)



農作業死亡事故調査（農水省）、人口動態統計（厚労省）、熱中症警戒アラート発表回数（環境省）

農作業中の事故の内訳

	死亡件数（全体）									（参考） 熱中症警戒 アラート発表 数
	5～9月 (A)+(B)	熱中症	熱中症以外							
			5～9月 (A)	5～9月（B）			高所等か らの転倒	草刈機	自脱型コ ンバイン	
令和 5年	236	132	37	35	199	97				9
令和 6年	287	184	59	56	228	128	20	6	12	1,722
増加数	51	52	22	21	29	31	11	5	5	490